astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 7 - 1 2)

1 級

文字・語彙

(100点　45分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で9ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 Ⅰ　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。正しい読み方を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　その店は経営が危ぶまれ(1)ていたが、今月に入って黒字に転換(2)し、借金の返済(3)に追われる生活から脱する(4)ことができた。

(1) 危ぶまれて　1　あわうぶまれて　2　あやぶまれて　3　あわぶまれて　4　あやうぶまれて

(2) 転換　1　てんかん　2　てんせん　3　てんこう　4　てんそう

(3) 返済　1　へんぜい　2　へんせい　3　へんさい　4　へんざい

(4) 脱する　1　さっする　2　だっする　3　ぜっする　4　いっする

問 2　近くに香辛料(1)を売っている問屋(2)があるので、この辺りにはいいにおいが漂って(3)いる。

(1) 香辛料　1　こうこうりょう　2　かしんりょう　3　かこうりょう　4　こうしんりょう

(2) 問屋　1　とんや　2　とうや　3　もんや　4　もうや

(3) 漂って　1　さまよって　2　かたよって　3　にかよって　4　ただよって

問 3　大木さんは、ホテルでピアノを演奏(1)して稼いだ(2)金で生活費を賄って(3)いる。

(1) 演奏　1　えんそう　2　えんすう　3　えんす　4　えんそ

(2) 稼いだ　1　つないだ　2　しのいだ　3　かせいだ　4　かついだ

(3) 賄って　1　うるおって　2　まかなって　3　やしなって　4　おぎなって

問 4　犯人は人質(1)とあの建物の端(2)の部屋にいる。

(1) 人質　1　ひとじち　2　にんじち　3　にんしち　4　ひとしち

(2) 端　1　すみ　2　おく　3　かど　4　はし

問５　事態を<u>把握</u>(1)し、問題点を<u>認識</u>(2)したら、直ちに対処するのが<u>賢明</u>(3)だ。

(1) 把握	1	ひあく	2	はあく	3	はおく	4	ひおく
(2) 認識	1	じんしき	2	にんしょく	3	にんしき	4	じんしょく
(3) 賢明	1	けんみょう	2	かんめい	3	かんみょう	4	けんめい

問題 Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　自然のめぐみを享受する。

1　真珠　　2　教授　　3　長寿　　4　巨樹

(2)　貿易を振興する。

1　補強　　2　不況　　3　進行　　4　人口

(3)　彼女の正体は刑事だった。

1　招待　　2　制定　　3　盛大　　4　状態

(4)　彼は肉も魚も一切食べない。

1　一冊　　2　一説　　3　一歳　　4　一斉

(5)　この国の河川は美しい。

1　反省　　2　破産　　3　降水　　4　化繊

問題 Ⅲ　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　このカードは(1)じきを(2)おびたものに近づけると、書き込まれていたデータが(3)しょうきょされてしまいます。

(1) じき	1	滋気	2	磁気	3	滋機	4	磁機
(2) おびた	1	触びた	2	負びた	3	携びた	4	帯びた
(3) しょうきょ	1	浄去	2	消拒	3	消去	4	浄拒

問 2　ここに(1)しょめいと(2)いんかんをいただくと、(3)けいやくが完了します。

(1) しょめい	1	薯名	2	著名	3	署名	4	箸名
(2) いんかん	1	印環	2	印鑑	3	印巻	4	印貫
(3) けいやく	1	契約	2	掲約	3	掲役	4	契役

問 3　このような取引は(1)ひんぱんに行われたという彼の(2)こくはくは、人々に大きな(3)しょうげきを与えた。

(1) ひんぱん	1	頻繁	2	頻範	3	煩繁	4	煩範
(2) こくはく	1	告吐	2	克吐	3	告白	4	克白
(3) しょうげき	1	衝撃	2	衝激	3	衡撃	4	衡激

問 4　少年たちは海で(1)つった魚や(2)もぐってとった貝などの(3)えものを持って、楽しそうに帰っていった。

(1) つった	1	釘った	2	針った	3	釣った	4	鉤った
(2) もぐって	1	渦って	2	浸って	3	溜って	4	潜って
(3) えもの	1	得物	2	選物	3	恵物	4	獲物

問 5　この壁に(1)ほどこされた美しい(2)そうしょくは、数百年を(3)へているそうだ。

(1) ほどこされた	1	奉された			2	施された		
	3	供された			4	添された		
(2) そうしょく	1	装色	2	荘色	3	荘飾	4	装飾
(3) へている	1	距ている	2	経ている	3	隔ている	4	断ている

問題 Ⅳ　次の文の下線をつけた言葉の二重線（　　）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　この文は(ちゅう)しょう的で、わかりにくい。

1　犬は人間に(ちゅう)じつだと言われる。

2　矢が的にめい(ちゅう)した。

3　(ちゅう)せんに当たって、CDをもらった。

4　ロケットでう(ちゅう)に行ってみたい。

(2)　国会ではしつ(ぎ)が行われていた。

1　祖母は私にれい(ぎ)や作法を教えてくれた。

2　(ぎ)せいしゃは、数十人にのぼるという。

3　その件は現在しん(ぎ)中だ。

4　(ぎ)わくをまねくようなことはするな。

(3)　いつか海外に住んでみたいという(ばく)ぜんとした希望を持っている。

1　信じていた人に秘密を(ばく)ろされてしまった。

2　さ(ばく)では水は特に大切だ。

3　他人の自由をそく(ばく)してはならない。

4　昨日この近くでガス(ばく)はつがあったそうだ。

(4)　市民たちは街から犯罪をつい(ほう)しようとがんばっている。

1　この大学の図書館は一般にもかい(ほう)されている。

2　従来の経営システムは(ほう)かいしつつある。

3　ボランティアなので、(ほう)しゅうは受け取っていない。

4　も(ほう)したものからは独創性は感じられない。

(5)　これらすべての条件にがっ(ち)した人を募集している。

1　偶然のいっ(ち)に驚いた。

2　研究室に新しいエアコンをせっ(ち)した。

3　かつてその地は国王によってとう(ち)されていた。

4　太田さんはいつもわたしのぐ(ち)を聞いてくれる。

問題 V　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最もふさわしいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　彼の現在の苦しい立場を＿＿＿いただきたい。

1　制して　　2　称して　　3　察して　　4　即して

(2)　多くの若者が都会へ出ていくことによって、＿＿＿の問題を抱える村が増えた。

1　過密　　2　過疎　　3　過失　　4　過剰

(3)　市の図書館は、利用者の＿＿＿をはかるため、利用時間の延長を決めた。

1　適宜　　2　便利　　3　有利　　4　便宜

(4)　彼のせいでせっかくのパーティーが＿＿＿だ。

1　でたらめ　　2　うつろ　　3　台無し　　4　不適切

(5)　熱が下がるまでしばらく＿＿＿にしていてください。

1　穏やか　　2　安静　　3　平静　　4　健やか

(6)　今年中のこの目標は＿＿＿達成できないだろう。

1　到底　　2　大層　　3　相当　　4　格別

(7)　今国会では野党が＿＿＿権を握った。

1　主導　　2　優位　　3　誘導　　4　優勢

(8)　どんな＿＿＿の音楽が好きですか。

1　フィルター　　2　ポジション　　3　コントロール　　4　ジャンル

(9)　ご来場の皆様に記念品を＿＿＿いたしますので、ぜひお越しください。

1　交付　　2　進呈　　3　寄付　　4　配給

(10)　彼は真相を知っているくせに、わたしが聞いても「僕は何も知らない」と＿＿＿教えてくれない。

1　もらして　　2　こぼして　　3　ぼやいて　　4　とぼけて

(11)　このような賞をいただいたことを＿＿＿に思います。

1　華やか　　2　名誉　　3　鮮やか　　4　明朗

(12)　これは水を＿＿＿生地でできています。

1　なげく　　2　もがく　　3　はじく　　4　つつく

(13)　とても無理だと思っていたけど、＿＿＿優勝できるかもしれないね。

1　ことによると　　2　てっきり　　3　あいにく　　4　いかにも

(14)　失恋した人の＿＿＿気持ち、私にもよく分かります。

1　たやすい　　2　あくどい　　3　せつない　　4　いやしい

(15)　けがをしたときは、最初にきちんと＿＿＿することが大切です。

1　加工　　2　適用　　3　操作　　4　処置

問題 Ⅵ　次の(1)から(5)の＿＿＿の言葉が、それぞれはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　重い……重い地位につくほどストレスも増える。

1　重い病気で入院している。

2　重い荷物を持って手が疲れた。

3　私に与えられた任務は非常に重かった。

4　今日の体が重くて思うように動けない。

(2)　受ける……今日のスピーチはあまり受けなかったなあ。

1　彼は大衆に受けている。

2　検査を受けても受けなくてもいいですよ。

3　委員会の決定を受けて、新しい計画がスタートした。

4　そのニュースにはショックを受けた。

(3)　適当……冷蔵庫にあるもので適当に料理を作ったら、意外とおいしかった。

1　この仕事を頼める適当な人がいない。

2　年齢に応じた適当な運動をした方がいい。

3　いくら考えても、適当な答えが見つからない。

4　彼女はいつも適当なことを言うから、あまり信じないほうがいい。

(4)　過ぎる……いたずらが過ぎて怒られてしまった。

1　昨日はちょっと言葉が過ぎたようで反省している。

2　あっという間に春が過ぎてしまった。

3　40を少し過ぎたくらいの男性が現れた。

4　山田さんの乗った電車は、そろそろ京都を過ぎる頃です。

(5)　わく……主役が登場すると、観客はわいた。

1　その話を聞いて、希望がわいてきました。

2　そのニュースで、国中がわいている。

3　この辺りには、とても良い温泉がわいています。

4　お風呂がわきましたよ。

問題 Ⅶ　次の(1)から(5)の言葉の使い方として最もふさわしいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　執着

1　駅に執着したらすぐに連絡してください。

2　彼は勝敗に執着するタイプです。

3　お気に入りのセーターを毎日執着しています。

4　船底にたくさんの貝が執着している。

(2)　禁物

1　飛行機にうっかり禁物を持ち込もうとして注意された。

2　ここで魚を捕ることは禁物されています。

3　自信があっても油断は禁物です。

4　銃は許可なく持ち歩いてはいけない禁物なものの一つだ。

(3)　そらす

1　木村はちょっと席をそらしております。

2　古くなった看板をそらして、新しいのにかえた。

3　忙しくて昼ご飯をそらした。

4　彼は都合が悪くなると、いつも話題をそらす。

(4)　ずらっと

1　本にずらっと目を通した。

2　東京は、明日はずらっと晴れるようですよ。

3　あの人はずらっと背が高い。

4　店の前にずらっと人が並んでいる。

(5)　不順

1　今年の天候が不順で野菜が高い。

2　子ども達が不順で並んでいる。

3　不順に練習しても上手にならない。

4　このところ、会社の成長が不順で心配だ。

astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 7 - 1 2)

1 級

読解・文法

(200点　90分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で19ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

人の会話というのは、言葉としては案外(あんがい)成り立っていないことが多い。ずっと昔、母親と話をしていてそう痛感したことがある。

たとえばの話。私が母に「このあいだより太ったみたいだけれどどうしたの」と訊(き)く、すると母は「服を買いにいったら大きなサイズの店にいけと言われて腹がたった」と続ける。「甘いものを食べ過ぎなんじゃないの」と私が言うと、「どこそこの店の大福を買ったらまずくて食べられたものじゃなかった」と母は言う。

このように書き記してみれば、会話としてまったく成り立っていない。双方(注1)が双方の思うままを口にしているだけである。

わたしはこの母とよく口論(注2)になった。この「思うまま会話①」がどんどん進んでいくと、最後に決まって母は「小説なんか書いてないで結婚したらどうか」という方向に結論づけ、「あなたが太った話がなぜわたしの結婚問題に結び付くのか」と私が突っかかり(注3)②、口論になるわけである。この口論だってもちろん、会話としては成り立っていない。その都度(注4)、「母に私の言葉は通じないのだ」と腹立ち紛(まぎ)れに思ったものだった。

しかしひょっとしたら、通じないと決め付けた私は、会話というものは「相手の言うことを耳で聴き、順繰(じゅんぐ)り(注5)に理解する」はずだと信じていたのかもしれない。信じているふうに会話が進んでくれないことに苛立(いらだ)っ(注6)ていたのかもしれない。そういえば、「私の話をちゃんと聞いているのか」と、話の途中で幾度(いくど)も言ったことを今、思い出した。あれ③は、「耳で聞いたことを順繰りに理解しているのか」と自分の信じるところを訴えていたんだなあ。

言葉というものは使う人によって、温度も色合いも違う。もしこれが統一(とういつ)されていれば、順序だてて理性的に会話をせずとも、誤解や勘違いやすれ違いはまったくなくなるのではないか。映画や小説のなかで人々が交わす言葉④は、たいていの場合、温度も色合いも統一されている。だからものごとは決まった時間、決まったページ数のなかで、理性的に展開され着地すべき場所に着地する。しかし(　⑤　)で、同じ温度、同じ色合い、無個性の言葉でしか会話できないとしたら、と考えると、なにやら殺伐(さつばつ)(注7)としたものを感じてしまう。あくまで想像だが、戦時下などの有事(注8)のときは、ぎりぎり(注9)まで言葉から個性がそぎ落と(注10)されたのではなかろうか。

その人しか持ち得ない言葉があり、その人からしか受け取れない言葉というものがある。誤解をしたりすれ違ったりしつつ、それをまた言葉で訂正していく、ということも、案外人の持つゆた

かさのひとつなのかもしれない。そう考えると、成立しなかったように思えた母との会話も、私たちにしかあり得ない関係のひとつだったと思え、そのことにちょっと安心する。

（角田光代「成立しない会話」「脳あるヒト　心ある人」産経新聞2006年1月16日付朝刊による）

（注1） 双方：両方

（注2） 口論：口げんか

（注3） 突っかかる：激しい言い方で反発する

（注4） その都度：そのたびごと

（注5） 順繰りに：順番に

（注6） 苛立(いらだ)つ：いらいらする

（注7） 殺伐(さつばつ)：人間関係にうるおいのない様子

（注8） 有事：戦争や大事件が起こること

（注9） ぎりぎりまで：限度いっぱいまで

（注10）そぎ落とす：けずり落とす

問1　①「思うまま会話」とあるが、どのような会話か。

1　相手に通じないとあきらめて、初めから相手を理解しようとしない会話

2　相手の話を十分聞かず、自分の言いたいことを言うだけでかみ合わない会話

3　相手が興味を持っている話題について、相手の話の流れに合わせてする会話

4　相手の話を聞いていて腹がたつ内容が含まれているので、口論になりやすい会話

問2　②「私が突っかかり」とあるが、その時の筆者の気持ちとして最も適当なものはどれか。

1　母の話は何が言いたいのかわかりにくいので、欲求不満を感じている。

2　母のことを思って話しているのに、どうしてわかってくれないだろうという苛立(いらだ)ちを感じている。

3　母の話は始まりと終わりでは内容が異なり、しかも気に障る内容になることに対して不快感を持っている。

4　母が言いたいことを言い続けて人の話を聞かないので、言いたいことが言えなくなるという不満を持っている。

問３　③「あれ」とは何か。

1　母とどんなことでもよく口論したこと

2　母に自分の話が通じないと決めつけたこと

3　母との会話が思うように進まず苛立（いらだ）ったこと

4　母に自分の話を聞いているのか何度も確かめたこと

問４　④「映画や小説のなかで人々が交わす言葉」に対して、筆者はどのように思っているか。最も適当なものはどれか。

1　言葉の順番が決まっているので、会話が理性的である。

2　会話が順序だてて進まないので、個性的でありおもしろい。

3　言葉の使われ方もニュアンスも同じで、会話が予想どおりに進む。

4　会話の場面では、お互いが相手の話をよく聞くようになっている。

問５　（　⑤　）に入る表現として最も適当なものはどれか。

1　実際の生活

2　映画の世界

3　小説の世界

4　理想的な生活

問６　筆者は、はじめに会話がどのようなものだと考えていたか。

1　本来理性的であるが、誤解は当然生じるものだ。

2　すれ違いがあっても、苛立たずに聞くべきものだ。

3　相手の話の流れに沿って聞き、理解するべきものだ。

4　個性的であっても、その方が人間的だと感じられるものだ。

問７　母と自分との会話について筆者は今はどう思っているか。

1　誤解が生じるような会話も、活発な口論になるので、おもしろい。

2　誤解が生じるような会話も、二人の個性が表れていて、悪くはない。

3　誤解が生じるような会話は、母のわがままな性格の表れで、受け入れがたい。

4　誤解が生じるような会話は、母が一方的に進めたことが原因なので、意味がない。

問題 Ⅱ　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 私たち人間にとって悪臭(注1)というのは危険信号の一つである。もしも、食べ物が腐っているのに悪臭を感じなかったら、大丈夫だと思って食べて、食中毒を起こして死ぬかもしれない。私たちは、鼻という検出器(注2)を使って危険かどうかの判断をしている。

悪臭があるかないかは、私たち人間の判断であって、その判断が他の生物にもそのまま当てはまるわけではない。腐った物を屋外に出すと、すぐにキンバエが集まってくるように、腐った物はキンバエには、おそらくよい香りのものと思われる。キンバエにとって良い臭い(注3)とか悪い臭いとか、おいしい食べ物とかまずい食べ物とかという判断は、明らかに人間とは異なる。

微生物(注4)の中にも、人間と同じようなものをエサにするものもいるし、人間が嫌うものをエサにするものもいる。まずいエサとかおいしいエサという判断は、生物それぞれで異なるというごく常識的なことが、案外理解されていないようである。このために、悪臭物をエサにする微生物は、特殊で変な微生物だという誤解が生まれる。また、悪臭物ばかり与えたのでは、微生物は弱ってしまうのではないかというように考える人が出てきたりする。

物が腐ると悪臭が出るが、ここで出た悪臭は、ある種の微生物には重要なエサであって、この悪臭物でその微生物が育つ。これは、日常的な自然界の営みであり、この営みを担う微生物が自然界に広く分布している。

物質の循環にかかわる多くの生物の作用があって始めて、人間は生命を維持することができるのである。しかし、日常生活においては<u>その</u>一部しか認識する機会がないために、自然環境について誤解している人が多いようである。このことがさまざまな環境問題の理解の妨げになっているように思える。

（松永是・倉根隆一郎『おもしろい環境汚染浄化のはなし』による）

(注1) 悪臭：いやな臭い

(注2) 検出器：検査して危険なものなどを見つけ出す器具

(注3) キンバエ：腐った肉などに飛んで来る小さい虫

(注4) 微生物：顕微鏡で拡大しなければ見えない非常に小さい生物

問１　人間にとって悪臭を感じ取ることの意味は何か。

1　食べ物の安全性を判断できること

2　検出器の正確さを判断できること

3　その食べ物が好みに合うかどうか判断できること

4　その食べ物を食べると死ぬかどうか判断できること

問２　悪臭物をエサにする微生物が特殊で変だと誤解されるのはなぜか。

1　微生物はなぜ悪臭物に集まるか、ということが解明されていないから

2　微生物は常に人間とは違うものを好む、ということが認識されていないから

3　人間と微生物では好むものの判断が異なる、ということが理解されていないから

4　人間と微生物では持っている検出器が異なる、ということが明らかになっていないから

問３　「その」が指す内容は次のうちのどれか。

1　人間は臭い（におい）を感じ取ることで生命を維持できるということ

2　人間は多くの生物の働きによって生きていられるということ

3　自然界には悪臭を好む微生物が広く分布しているということ

4　微生物には物が腐って発生した悪臭物がエサになるということ

（2）人称代名詞（にんしょうだいめいし）われ（私）の複数はわれわれ（私たち）だと通常考えられている。多くの場合それでいいのだし、実際にもそういうふうに使われている。けれども、われわれがいつでも必ずわれの複数といえるかとなると、そうとばかりはいえないだろう。自分を含んだ複数の人間をひとまとめにしてわれわれというとき、ことわるまでもなくそのわれわれのなかで自分と他の人々とは、なんらの意味で親和的な間柄（あいだがら）[注1]にある。たとえばグループ、学校、会社、党派、家、国など、性格や規模こそちがえ、一つの同じ集団（しゅうだん）に属していて、心の、あるいは利害の上で互いに結びついていることが前提（ぜんてい）になっているわけだ。しかしこの場合、自分と他の人々とは、それぞれの集団の外部に対しては同一の集団に属するものとして結びつきをもっているにしても、それぞれの集団内部を考えてみれば、①自分と他の人々との間柄が対立を含んでいないとはいえない。自分にとって近い集団から遠い集団へ、自分を含む小さな集団から大きな集団へという方向で、一般的には集団内部の自他の対立は大きいが、たとえ小さな身近かな集団のなかでも自他の対立はなくなるわけではない。それどころか、ときには近親憎悪と呼ばれるような、近い間柄であることがかえって激しい憎しみを相互に惹（ひ）き起こすことさえあるのだ。[注2]このような

わけで、集団内部の自他の対立を問題にし出すと、②われわれということは簡単にはいえなくなる。もっといえば、ありえないことになる。つまり、（　③　）、そこにあるのはつねにただ自己と他者たちだ、ということになるのである。

（中村雄二郎『哲学の現在』による）

（注１）親和的な～：互いに親しい～

（注２）惹き起こす：生じさせる

問１　①「自分と他の人々との間柄が対立を含んでいないとはいえない」という筆者の考えから言えることはどれか。

1　他の集団に属する人間とは、親和的な間柄になることは難しい。

2　同じ利害で結びついていない人間同士には、対立関係が生じやすい。

3　身近な関係以外の人間には、激しい憎しみを持たないとはいえない。

4　同一の集団にいる身近な人間との間でも、親和的になるとは限らない。

問２　②「われわれということは簡単にはいえなくなる」のはなぜか。

1　一つの集団の中で、心や利害の上で互いに結び付いているという関係はあまりないから

2　一つの集団の中で、複数の人間が互いに憎しみを持っているということは考えられないから

3　どんなに共通点の多い集団でも、その構成員が全く同じ考えを持つことは許されていないから

4　どんなに共通点の多い集団でも、複数の人間が全く同じ考えを持っていることはありえないから

問３　（　③　）に入る最も適当な文はどれか。

1　われには複数はない

2　われは単純ではない

3　われはわれわれと同義である

4　われとわれわれは対立している

（3）僕はかたよっている①。何がかというと、たとえば映画が観(み)たいと思うと何本も立て続けて見る。観るのではなく、見るというのがふさわしい。本も読む時間がなくてイライラしてくると、バカ買い(注1)して本を眺めている。読むのではなく、眺めている。友達と会いたいと思うと、何人にも電話をする。会っている時間がないのに約束しようとする。肉を食べすぎていると思ったら半年食べなかった。白菜(はくさい)(注2)がうまいと思ったら毎日食べていたときもある。車が運転したくなって夜中に河口湖(かわぐちこ)(注3)周辺まで行った。なぜか僕はかたよっていて、ちょうどいい感じということを知らない気がする。つくづくバランスが悪いと思う。

（　②　）最近ひとつだけうれしく思ったことがある。かたよっているからこそ今の自分があると痛感したのだ。確かに音楽の仕事にしろ、小説を書くことにしろ、偏向(へんこう)(注4)した性格でなければ続かなかった。しかしそれよりも、いつまでも壊(こわ)れてしまったがらくた(注5)を捨てられないでいる自分が急に好きになったのだ。捨てずに置いてあるものが残っていたことがうれしかったのではない。捨てられないでいる自分の心が好きになったのである。

僕の胸の中に壊れてしまったハート(注6)がある。それを抱えたまま生きている。捨ててしまった方が荷物は軽くなるのに、いつまでも抱えている。

壊れたハートでこれからも歩いていく。

（須藤晃『みんなノイズを聴きたがる』による）

（注１） バカ買い：無茶苦茶に買うこと、必要以上に買うこと
（注２） 白菜(はくさい)：野菜の一つ
（注３） 河口湖：富士山の近くの湖
（注４） 偏向(へんこう)：かたよっていること
（注５） がらくた：使い道や値打ちのないもの
（注６） ハート：心

問１　①「僕はかたよっている」とあるが、それはどういうことか。

1　興味が持てるのは、映画しかないということ
2　不必要なものでも、何も捨てられないということ
3　イライラしてくると、本しか読めないということ
4　一度興味を持つと、それをやり過ぎてしまうということ

問２　（　②　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　それで

2　つまり

3　だから

4　ところが

問３　筆者は自分自身について現在はどう思っているか。

1　かたよった性格だからこそ、今の自分や仕事がある。

2　かたよった性格を抱えたままでは、今の仕事は続けられない。

3　かたよった性格のおかげで、今までとは違う自分が好きになった。

4　かたよった性格を直せないからこそ、今の自分を認めざるをえない。

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 国を国たらしめる(注1)要素(ようそ)は何なのか、ということでは、伝統的に、領土、国民、統治権(とうちけん)、これが国家の三要素だ、といわれてきた。つまり、一定の土地とそこに住む人々、そしてその土地および人々に支配権をもつ統治権力、その三つがそろってはじめて国家というものが成り立つ、というわけである。たしかに、このうちのどれ一つが欠けても国家は成り立たないから、そのかぎりでは、これが国家の三要素だというのは、まちがいではない。しかし、一定の土地とそこに住む人々というのは、国家というものがなくても存在する。いわば国家以前の存在である。そこに国家が成立するのは、その土地および人々を支配する統治権力が現われることによって、である。つまり、国家の三要素とされるもののなかでは、統治権こそが、国家を国家たらしめる本質的な要素なのである。国家の本質は「権力」にあり、「権力」こそが国家の実体(注2)だ、ということである。

（浦部法穂『憲法学教室（全訂第2版)』による）

（注１） 国たらしめる：国であるようにさせる

（注２） 実体：本質的な中身

【問い】　「そこに国家が成立するのは」とあるが、「そこ」とはどこか。

1　国家の三要素のうちのどれか一つだけが欠けているところ

2　ある決まった範囲の土地とそこに住む人々が存在するところ

3　一定の土地および人々を支配する統治権力が現われるところ

4　領土、国民、統治権という国家の三要素がそろっているところ

（2）「どうすれば、将棋が強くなれますか？」とは、もっともよく聞かれる質問である。

実は、この質問には肝心な言葉が隠されている。それは「努力しないで」という言葉である。つまり「どうすれば努力しないで将棋が強くなれますか？」と聞きたいのだ。小さな子どもが上手に将棋を指せば、大人は「この子の才能をまっすぐに伸ばしたい」と思うものだ。しかし、才能という言葉は、あるレベルまでいってからのことで、それまでは継続的な努力によってのみ上達や向上がある。子どもにはまず、継続的な努力を可能にする集中力を養うことが大切なのだ。

幼児や小学生の頃の子どもは、好奇心(注1)は旺盛(注2)で、どんなものでも好きになれば夢中になる。しかし、移り気(注3)でもある。飽きてしまうと、親がいくら熱心になって旗(注4)を振ろうが、太鼓を鳴らそうが、そっぽを向いてしまう。集中力を欠いている状態で無理強いしても、柔らかい頭脳には何も染み込んではいかないだろう。

（谷川浩司『集中力』による）

（注１） 好奇心：珍しい物事、未知の事柄に対する興味
（注２） 旺盛：盛んなこと
（注３） 移り気：興味の対象が変わりやすいこと
（注４） 旗を振る：ある行動をとるように誘導する

【問い】 「集中力を養うことが大切なのだ」とあるが、それはなぜか。

1　集中力さえつけば、継続的に努力しなくても才能がまっすぐ伸びていくから
2　子どもに集中力があれば、親が無理強いしたことでも子どもはそっぽを向かないから
3　子どもの才能が開花するまでは努力が必要であるが、努力するためには集中力が重要であるから
4　子どもはふつう集中力がないので、まず集中力を養うことによって好奇心も旺盛になると考えられるから

（3）契約自由の原則は近代資本主義の勃興期(注1)の経済体制によくマッチ(注2)していました。それがはたした功績が大きいものでした。しかし、19世紀末葉(注3)にいたり、資本主義が成熟し、高度化するにともない、これをそのまま維持することは、場合によっては、結果的に人々を不公平に扱うことになってまいりました。大資本による市場の独占化の傾向が出てくる段階になりますと、このことはさらに一段と顕著(注4)となります。ここにおいて、契約自由の原則は変容をせまられることになるのです。

（井口茂『くらしの法律相談　契約で失敗しないための知識とQ&A［改訂第2版］』による）

（注1） 勃興期：急に勢いが強くなった時期

（注2） マッチする：合う

（注3） 19世紀末葉：19世紀末

（注4） 顕著：著しいこと

【問い】　契約自由の原則が変容をせまられることになるのはなぜか。

1　今までの契約自由の原則は、人々を不公平に扱うことが前提になっていたから

2　大資本の市場の独占によって、契約自由の原則の本来の目的が達成されたから

3　近代資本主義の勃興期の契約自由の原則は、19世紀の経済において功績を残さなかったから

4　資本主義の成長にともない、それまでの契約自由の原則では人々を公平に扱えない場合が増えてきたから

（4）

アフリカ・サハラ砂漠に生息するアリの一種は、巣から餌を探しに出掛けた後、帰るのに、太陽の光のほか、歩数を手掛かりにしている可能性が高いことが分かった。ドイツ・ウルム大などの研究チームが二日までに米科学誌サイエンスに発表した。ただ、この体内「歩数計」の詳しい仕組みはまだ分からないという。

学名が「カタグリフィス・フォルティス」と呼ばれるこのアリは、帰巣の際、来た道筋をうねうねとたどって戻るのではなく、巣に直行することが知られる。

周囲に目印がない砂漠で、方向は太陽光に頼るとしても、（　　）が謎だった。

（日本経済新聞二〇〇六年七月三日付朝刊による）

（注１）生息する：ある場所に生活する

（注２）うねうねと：曲がりながら長く続くようす

（注３）直行する：途中でどこにも寄らずに目的地に行く

（注４）目印：目標となる物

【問い】　（　　）に入る最も適当なものはどれか。

1　帰巣行動と太陽光の関係

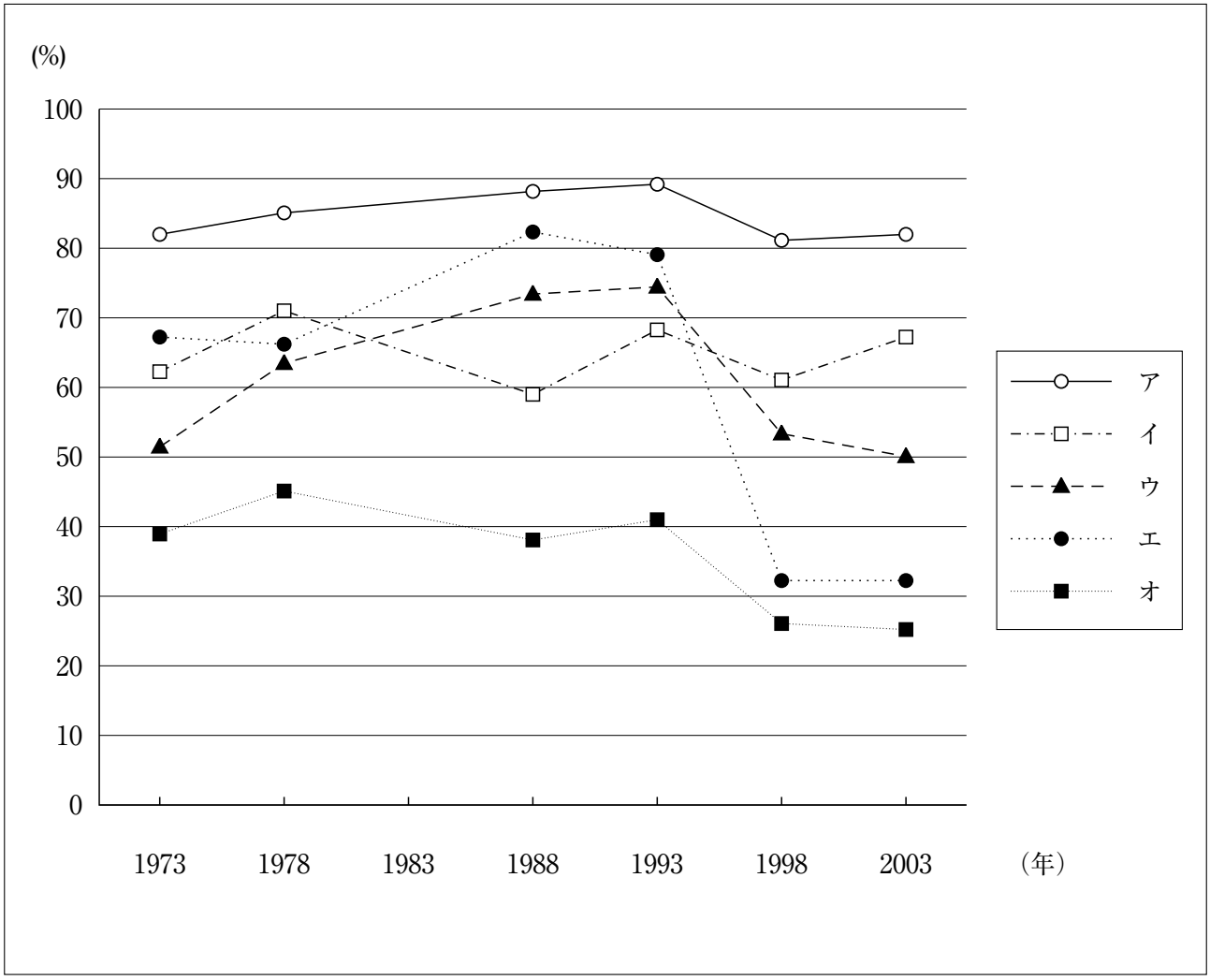
2　体内「歩数計」の詳しい仕組み

3　どうやって距離をつかんでいるか

4　どのような方法で餌を探しているか

（5）ある研究所は、二十歳以上の日本男女を対象に、1973年から定期的に日本の現状評価についての質問調査を行っている。右のグラフは、そのうちの「芸術」「経済力」「生活水準」「心の豊かさ」「科学技術の水準」の5つの項目について、<非常によい>と<ややよい>を合わせた選択率の変化を示したものである。

それによると、「科学技術の水準」は1973年の調査開始時から徐々に伸びた後いったん下降しているが、最近またわずかに回復傾向が見られる。「芸術」はおよそ10%の幅で上がったり下がったりを繰り返し、2003年に評価が上がったものの、今後も評価が伸びるかどうかはわからない。一方「経済力」は1988年を最高に、それ以降評価は下がり、2003年の調査でも回復は見られない。また「生活水準」は調査開始から毎回評価は伸びていたが、1993年を境に下がり、その後も下降の傾向にある。「心の豊かさ」は毎回低い評価を受けていたが、1993年以降さらに低くなり、「生活水準」と同様、その後も低いままである。日本の現状評価は、1998年以降多少上向きの傾向が見られる項目はあるが、全体的に下がっているということがこの調査からわかった。



（グラフは坂本慶行「日本人の国民性50年の軌跡―『日本人の国民性調査』から―」『統計数理』第53巻第1号による）

【問い】　文章の内容とグラフが合う組み合わせはどれか。

1　ア：科学技術の水準　イ：芸術　ウ：生活水準　エ：経済力　オ：心の豊かさ

2　ア：科学技術の水準　イ：心の豊かさ　ウ：生活水準　エ：芸術　オ：経済力

3　ア：生活水準　イ：芸術　ウ：科学技術の水準　エ：心の豊かさ　オ：経済力

4　ア：生活水準　イ：経済力　ウ：科学技術の水準　エ：芸術　オ：心の豊かさ

問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　もう遅刻しないと言った＿＿＿また遅れるなんて、彼は何を考えているのだろう。

1　が最後　　2　のなら　　3　そばから　　4　ともなしに

(2)　昨日泊まったホテルは、眺め＿＿＿サービス＿＿＿、本当に満足のいくものだった。

1　だの／だの　　2　とも／とも　　3　なり／なり　　4　といい／といい

(3)　教授の助言＿＿＿、この研究の成功はなかった。

1　なくして　　2　ならでは　　3　にあって　　4　によらず

(4)　悲惨な事故＿＿＿、安全のための管理体制がいっそう強化された。

1　を掲げて　　2　を契機として　　3　にも増して　　4　に先だって

(5)　先日提出された調査報告は信頼＿＿＿ものではなかった。

1　に向く　　2　に足る　　3　を通す　　4　を込め

(6)　最近は多忙で、旅行＿＿＿コンサートに行く暇(ひま)もない。

1　どころか　　2　に際して　　3　からすると　　4　もかまわず

(7)　ゴミを減らすためには、市や町の取り組み＿＿＿、個人の心がけもやはり大切だ。

1　もなにも　　2　をなかばに　　3　を抜きにして　　4　もさることながら

(8)　現在の状況＿＿＿、今後の計画を考え直す必要がある。

1　もがな　　2　とみるや　　3　に及ばず　　4　を踏まえて

(9)　店には多くの魅力的な品が並んでいたが、いざ買う＿＿＿なかなか決心がつかなかった。

1　より　　2　あまり　　3　につれ　　4　となると

(10)　寺の入り口に「ここより中には＿＿＿」と書かれていたので、見学はあきらめるしかなかった。

1　入るべし　　2　入るべからず　　3　入りかねる　　4　入りかねない

(11)　退職前の慌(あわ)ただしい生活＿＿＿、今の生活はのんびりしている。まるで夢のようだ。

1　ぬきには　　2　といったら　　3　にひきかえ　　4　はもとより

(12)　誰(だれ)が何と＿＿＿、私の決意は変わりません。

1　言おうと　　2　言いながら　　3　言うおかげで　　4　言ったはずで

(13)　取引先の担当者からスケジュールの調査をしたい＿＿＿連絡を受けた。

1　との　　2　ものの　　3　ように　　4　ばかりに

(14)　観客は彼女の優美＿＿＿大胆な演技に感動した。

1　なりの　　2　にして　　3　ゆえの　　4　をおいて

(15)　急速な少子化は、高齢者の増加＿＿＿、日本の人口構造を大きく変えてきている。

1　と言えば　　2　とあいまって　　3　をかわきりに　　4　をきっかけに

(16)　遭難しても、チョコレートが一枚(まい)あれば数日間生きられるという話を＿＿＿、登山には必ずチョコレートを持っていくようにしている。

1　聞いたところで　　2　聞いたかと思うと

3　聞いてからというもの　　4　聞くか聞かないかのうちに

(17)　あの人は周囲の心配を＿＿＿、好き勝手に振舞っている。

1　へて　　2　もって　　3　よそに　　4　たよりに

(18)　あわや大事故になる＿＿＿だったが、幸い負傷者は出ずにすんだ。

1　はず　　2　べき　　3　もの　　4　ところ

(19)　彼の言動は社会人として＿＿＿もので、とうてい許すことはできない。

1　あろう　　2　あるべき　　3　あるまじき　　4　あるような

(20)　壁の時計が斜めになっていたので＿＿＿、かえって曲がってしまった。

1　掛け直したら　　2　掛け直しつつ

3　掛け直すと同時に　　4　掛け直すのに応じて

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　所得が低いひとには、税金の負担を軽くするなどの措置がとられて＿＿＿。

1　もともとだ　　2　しかるべきだ　　3　極まりない　　4　やまない

(2)　こんな複雑な書類を何十枚(まい)も書かなきゃいけないなんて、面倒くさい＿＿＿。

1　わけがない　　2　ったらない

3　じゃすまない　　4　ってことはない

(3)　学生時代、奨学金がもらえてどれほど助かった＿＿＿。

1　はずだ　　2　ものだ　　3　ことか　　4　のみか

(4)　子ども「自分のパソコンが欲しいよ。ねえ、駄目？」

母親　「ゲームじゃなくて勉強に使うんなら＿＿＿、けど。」

1　考えようにも考えられない　　2　考えなくもない

3　考えるどころじゃない　　4　考えっこない

(5)　つらい治療に耐え、病気を克服することができたのは、家族の励ましが＿＿＿。

1　あってのことだ　　2　あるかのようだ

3　あるかぎりだ　　4　ありながらだ

(6)　奥様がお亡くなりになったと伺って、悲しみ＿＿＿。

1　というほどのものではありません　　2　といってさしつかえありません

3　にいたりません　　4　にたえません

(7)　不正な取引が明らかになり、その取引に関わった会社役員は辞職＿＿＿。

1　を禁じえなかった　　2　を余儀なくされた

3　には及ばなかった　　4　にあずからなかった

(8)　たった3歳(さい)でこんなに難しい曲を見事に演奏してしまうとは、これが天才＿＿＿。

1　でなくてなんだろう　　2　ですらないだろう

3　ならそれまでだろう　　4　にあるまじきことだろう

(9)　おもしろいと言われたからといって、同じ冗談を何度も＿＿＿。

1　聞かせてもらいたい　　2　聞かせてしまおう

3　聞かされたらいいじゃないか　　4　聞かされちゃかなわない

(10)　彼なりにできるだけの努力をしたのだから、いい結果を出せなかったとしても、非難＿＿＿。

1　するにはあたらない　　2　するよりほかない

3　しないではおかない　　4　しないはずがない

問題 Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　私は率直な感想を＿＿＿です。特定の人を批判する意図はありません。

1　述べるのももっとも　　2　述べるかのごとき

3　述べたが最後　　4　述べたまで

(2)　まったく、うちの犬＿＿＿！ 泥棒が入ってきても、寝ていたんですよ。

1　となると　　2　とみるや　　3　ときたら　　4　とあれば

(3)　最近の電化製品は機能が多すぎる。開発者たち＿＿＿すべての機能が必要とは思わないのではないか。

1　やら　　2　とて　　3　たれば　　4　ならでは

(4)　現代の若者は、子どもの時からテレビやインターネットなどでさまざまな情報に接(せっ)する機会が多い。その反面、＿＿＿。

1　親は子どもの世話をテレビに任せている

2　子どもの数が減っていることが心配されている

3　実物を見たり触ったりする体験が不足している

4　実際の体験を重視した教育プログラムを作るべきだ

(5)　ビデオカメラの調子が悪いので、メーカーに電話した。すると、言葉づかいは丁寧だったが、＿＿＿と言わんばかりだった。

1　私の使い方が悪い　　2　商品の品質がよくない

3　すぐに取りかえる　　4　メーカーに責任がある